

## 第一級陸上特殊無線技士「法規」試験問題

〔1〕 免許人は、空中線電力の指定の変更を受けようとするときは、電波法の規定によりどのようにしなければならないか、正しいものを下の番号から選べ。

- 1 あらかじめ総務大臣にその旨を届け出る。
- 2 免許状を総務大臣に提出し、訂正を受ける。
- 3 あらかじめ総務大臣から指示を受ける。
- 4 総務大臣にその旨を申請する。

〔2〕 次の記述は、特定無線局の免許の特例について電波法の規定に沿って述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

通信の相手方である無線局からの電波を受けることによって自動的に選択される周波数の電波のみを発射する無線局のうち総務省令で定めるものであって、第38条の2第1項の□A□のみを使用するもの（以下「特定無線局」という。）を□B□以上開設しようとする者は、その特定無線局が目的、通信の相手方、□C□並びに無線設備の規格（総務省令で定めるものに限る。）を同じくするものである限りにおいて、第27条の3から第27条の11までに規定するところにより、これらの特定無線局を包括して対象とする免許を申請することができる。

- | A                  | B | C          |
|--------------------|---|------------|
| 1 技術基準適合証明を受けた無線設備 | 2 | 電波の型式及び周波数 |
| 2 技術基準適合証明を受けた無線設備 | 5 | 周波数及び空中線電力 |
| 3 型式検定に合格した無線設備    | 2 | 周波数及び空中線電力 |
| 4 型式検定に合格した無線設備    | 5 | 電波の型式及び周波数 |

〔3〕 次の記述は、「周波数の許容偏差」の定義について電波法施行規則の規定に沿って述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

「周波数の許容偏差」とは、発射によって占有する周波数帯の中央の周波数の□A□周波数からの許容することができる最大の偏差又は発射の□B□周波数の基準周波数からの許容することができる最大の偏差をいい、百万分率又はヘルツで表す。

- | A    | B  |
|------|----|
| 1 基準 | 占有 |
| 2 基準 | 特性 |
| 3 割当 | 特性 |
| 4 割当 | 占有 |

〔4〕 送信設備の各单位装置相互間をつなぐ電線であって高圧電気を通ずるものは、電波法施行規則の規定によりどのようにしなければならないか、正しいものを下の番号から選べ。

- 1 絶縁されており、かつ、電気設備に関する技術基準を定める省令（昭和40年経済産業省令第61号）の規定するところに従い保護しなければならない。
- 2 線溝若しくは丈夫な絶縁体又は接地された金属遮へい体の内に収容しなければならない。ただし、取扱者のほか出入りできないように設備した場所に装置する場合は、この限りでない。
- 3 避雷器又は接地装置を設けなければならない。ただし、無線従事者以外の者が出入りしない場所にある場合は、この限りでない。
- 4 絶縁されているか、又はその高さが人の歩行その他起居する平面から2.5メートル以上のものでなければならない。

〔5〕 次の記述は、22GHz帯の周波数の電波を使用する固定局の送信設備のスプリアス発射の強度の許容値について、無線設備規則の規定に沿って述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

基本周波数の平均電力が10ワット以下の送信設備にあっては、給電線に供給される周波数ごとのスプリアス発射の平均電力が□以下である値を許容値とする。

- |          |              |             |              |
|----------|--------------|-------------|--------------|
| 1 1ミリワット | 2 100マイクロワット | 3 25マイクロワット | 4 2.5マイクロワット |
|----------|--------------|-------------|--------------|

〔6〕 主任無線従事者とはどのような者をいうか、電波法の規定により正しいものを下の番号から選べ。

- 1 無線局の無線設備の操作を行う者のうち、その責任者をいう。
- 2 無線局の無線設備の管理を行う者をいう。
- 3 2人以上選任された無線従事者がいるとき、主たる任務を担当する無線従事者をいう。
- 4 無線局（アマチュア無線局を除く。）の無線設備の操作の監督を行う者をいう。

- 【 7 】 次の記述は、陸上移動業務の無線局の呼出しの簡易化について無線局運用規則の規定に沿って述べたものである。□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。ただし、□ 内の同じ記号は、同じ字句を示す。

空中線電力 50 ワット以下の無線電話により呼出しを行う場合において、確実に連絡の設定ができると認められるときは、呼出事項のうち □ A □ の送信を省略することができる。

の規定により □ A □ の送信を省略した無線局は、その通信中 □ B □ を送信しなければならない。

- | A                  | B                             |
|--------------------|-------------------------------|
| 1 「こちらは」及び自局の呼出名称  | 少なくとも 1 回以上自局の呼出名称            |
| 2 「こちらは」及び自局の呼出名称  | できる限り 5 分間の間隔をおいて相手局の呼出名称 1 回 |
| 3 相手局の呼出名称及び「こちらは」 | 相手局の呼出名称 1 回                  |
| 4 相手局の呼出名称及び「こちらは」 | 自局の呼出名称 2 回                   |

- 【 8 】 無線局は、無線設備の機器の試験又は調整のための電波の発射が他の既に行われている無線局の通信に混信を与える旨の通知を受けたときは、どのようにしなければならないか、無線局運用規則の規定に照らし正しいものを下の番号から選べ。

- 1 10 秒間を超えて電波を発射しないように注意しなければならない。
- 2 その通知に対して直ちに応答しなければならない。
- 3 直ちにその発射を中止しなければならない。
- 4 空中線電力を低下しなければならない。

- 【 9 】 次の記述は、電波の発射の停止について電波法の規定に沿って述べたものである。□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。ただし、□ 内の同じ記号は、同じ字句を示す。

総務大臣は、無線局の発射する □ A □ が総務省令で定めるものに適合していないと認めるときは、当該無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができる。

総務大臣は、□ の命令を受けた無線局からその発射する □ A □ が総務省令の定めるものに適合するに至った旨の申出を受けたときは、その無線局に電波を試験的に発射させなければならない。

総務大臣は、□ の規定により発射する □ A □ が総務省令で定めるものに適合しているときは、直ちに □ B □ しなければならない。

- | A       | B      |
|---------|--------|
| 1 電波の質  | その旨を通知 |
| 2 電波の質  | の停止を解除 |
| 3 電波の強度 | の停止を解除 |
| 4 電波の強度 | その旨を通知 |

- 【 10 】 免許人が電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき、電波法の規定により総務大臣からどのような処分を受けることがあるか、正しいものを下の番号から選べ。

- 1 無線局の免許の取消し
- 2 無線局の免許の有効期間の制限
- 3 3 箇月以内の期間を定めた無線局の運用の停止
- 4 無線従事者の免許の取消し

- 【 11 】 次の記述のうち、無線従事者がその免許を取り消されることがある場合に該当しないものを、電波法の規定に照らし下の番号から選べ。

- 1 電波法又は電波法に基づく命令に基づく処分に違反したとき。
- 2 電波法又は電波法に基づく命令に違反したとき。
- 3 不正な手段により免許を受けたとき。
- 4 日本の国籍を失ったとき。

- 【 12 】 無線局の免許がその効力を失ったとき、免許人であった者は、免許状をどのようにしなければならないか、電波法の規定により正しいものを下の番号から選べ。

- 1 遅滞なく廃棄しなければならない。
- 2 1 箇月以内に返納しなければならない。
- 3 無線検査簿とともに 2 箇月間保管しなければならない。
- 4 無線検査簿とともに 3 箇月以内に返納しなければならない。

## 第一級陸上特殊無線技士「法規」試験問題

【1】 免許人は、無線設備の変更の工事（総務省令で定める軽微な事項を除く。）をしようとするときは、電波法の規定によりどのようにしなければならないか、正しいものを下の番号から選べ。

- 1 あらかじめ総務大臣に届け出る。
- 2 適宜工事を行い、工事完了後総務大臣に届け出る。
- 3 あらかじめ総務大臣に届け出て、その指示を受ける。
- 4 あらかじめ総務大臣の許可を受ける。

【2】 次の記述は、落成後の検査について電波法の規定に沿って述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

第8条の予備免許を受けた者は、工事が落成したときは、その旨を総務大臣に届け出て、その無線設備、無線従事者の資格（第39条第3項に規定する主任無線従事者の要件に係るものを含む。）及び員数並びに□A（以下「無線設備等」という。）について検査を受けなければならない。

の検査は、の検査を受けようとする者が、当該検査を受けようとする無線設備等について第24条の2第1項又は第24条の9第1項の認定を受けた者（「認定点検事業者」又は「認定外国点検事業者」のことをいう。）が総務省令で定めるところにより行った当該認定に係る□Bの結果を記載した書類を添えての届出をした場合においては、その□Cを省略することができる。

A	B	C
1 時計及び書類	点検	一部
2 時計及び書類	検査	全部
3 周波数測定装置	検査	一部
4 周波数測定装置	点検	全部

【3】 次の記述は、安全施設に関する電波法の規定について述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線設備には、□ことがないように、総務省令で定める施設をしなければならない。

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1 無線局の運用に支障を来す         | 2 人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与える |
| 3 物件に損傷を与え、又は電磁環境を破壊する | 4 他の電氣的設備の機能に障害を与える     |

【4】 「無給電中継装置」の定義について、電波法施行規則に規定されているものを下の番号から選べ。

- 1 電源として太陽電池を使用して自動的に中継する装置をいう。
- 2 受信装置のみによって電波の伝搬方向を変える中継装置をいう。
- 3 送信機、受信機その他の電源を必要とする機器を使用しないで電波の伝搬方向を変える中継装置をいう。
- 4 自動的に動作する無線設備であって、通常の状態においては技術操作を直接必要としないものをいう。

【5】 次に掲げる記号をもって表示する電波の型式のうち、電波法施行規則の規定に照らし、その内容が誤っているものを下の番号から選べ。

- 1 「A3E」は、主搬送波の変調の型式が両側波帯による振幅変調、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である単一チャンネルのもの及び伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）であるものを示す。
- 2 「F7D」は、主搬送波の変調の型式が周波数変調、主搬送波を変調する信号の性質がデジタル信号である2以上のチャンネルのもの及び伝送情報の型式がデータ伝送、遠隔測定又は遠隔指令であるものを示す。
- 3 「G7W」は、主搬送波の変調の型式が位相変調、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である2以上のチャンネルのもの及び伝送情報の型式がテレビジョン（映像に限る。）であるものを示す。
- 4 「F8E」は、主搬送波の変調の型式が周波数変調、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である2以上のチャンネルのもの及び伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）であるものを示す。

【6】 電波法施行令の規定により、第一級陸上特殊無線技士の資格を有する者が行うことができる無線設備の操作を下の番号から選べ。

- 1 無線航行局のレーダーの技術操作
- 2 海岸局の空中線電力100ワットの無線電話の技術操作
- 3 テレビジョン放送局の空中線電力500ワットの無線設備の技術操作
- 4 固定局の空中線電力10ワットの多重無線設備で400MHz帯の周波数の電波を使用するものの技術操作

〔 7 〕 次の記述は、無線局を運用する場合における空中線電力について電波法の規定に沿って述べたものである。□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

無線局を運用する場合においては、空中線電力は、次に定めるところによらなければならない。ただし、□ A については、この限りでない。

(1) 免許状に □ B であること。

(2) 通信を行うため必要最小のものであること。

の □ C に違反して無線局を運用した者は、1 年以下の懲役又は 50 万円以下の罰金に処する。

	A	B	C
1	非常通信	記載されたものの範囲内	(2)の規定
2	非常通信	記載されたもの	(1)の規定
3	遭難通信	記載されたものの範囲内	(1)の規定
4	遭難通信	記載されたもの	(2)の規定

〔 8 〕 電波を発射して行う無線電話の無線機器の試験又は調整中、無線局運用規則の規定により、しばしばその電波の周波数により聴守を行って確かめなければならないこととなっているものを下の番号から選べ。

- 1 「本日は、晴天なり」の連続及び自局の呼出名称の送信が 10 秒間を超えていないかどうか。
- 2 他の無線局から停止の要求がないかどうか。
- 3 その電波の周波数の偏差が許容値を超えていないかどうか。
- 4 受信機が最良の感度に調整されているかどうか。

〔 9 〕 次の記述のうち、無線局の臨時検査が行われることがある場合に該当するものを、電波法の規定に照らし下の番号から選べ。

- 1 総務大臣が電波法の施行を確保するため特に必要があると認めるとき。
- 2 無線局の再免許を受けたとき。
- 3 周波数の指定の変更を受けたとき。
- 4 無線設備の変更の工事を行ったとき。

〔 10 〕 次の記述は、総務大臣が行う行政処分について電波法の規定に沿って述べたものである。□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

総務大臣は、免許人が電波法、放送法若しくはこれらの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したときは、□ A 以内の期間を定めて □ B の停止を命じ、又は期間を定めて運用許容時間、□ C 若しくは空中線電力を制限することができる。

	A	B	C
1	1 箇月	無線局の運用	電波の型式、周波数
2	1 箇月	電波の発射	周波数
3	3 箇月	電波の発射	電波の型式、周波数
4	3 箇月	無線局の運用	周波数

〔 11 〕 無線従事者が電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき、総務大臣からどのような処分を受けることがあるか、電波法の規定により正しいものを下の番号から選べ。

- 1 無線従事者の免許の取消し
- 2 無線設備の操作の範囲の制限
- 3 6 箇月間の業務の従事停止
- 4 無線従事者の解任

〔 12 〕 電波法施行規則の規定により、無線業務日誌を備え付けなければならない固定局がその業務日誌に記載を要しない事項を下の番号から選べ。

- 1 無線従事者（主任無線従事者の監督を受けて無線設備の操作を行う者を含む。）の氏名、資格及び服務方法（変更のあったときに限る。）
- 2 通信の開始及び終了の時刻
- 3 空電、混信、受信感度の減退等の受信状況
- 4 非常の場合の無線通信の実施状況